

恥ずかしいほど低い日立空調の一時金

日立空調システム
と関連会社で働く
人のネットワーク



2005年3月

No.11

発行：オアシス
編集委員会
連絡先：多田義幸
TEL (FAX)

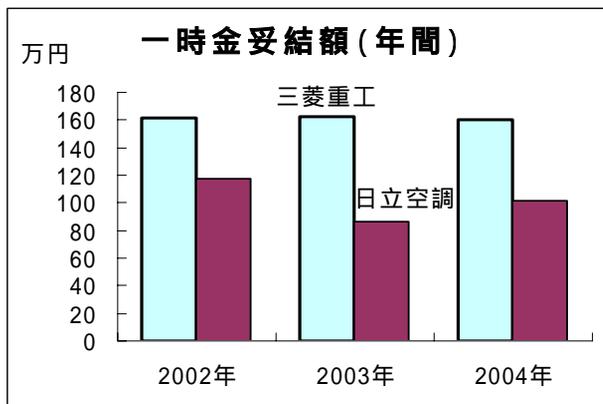
0543-65-0433

90%がゆとりない

05春闘において、日立空調システム労働組合は賃金体系の維持と一時金5ヶ月を要求しています。会社は分社化以来最高の利益を見込んでいると言っています。しかし働く人の生活は、長引く不況と賃下げの影響で苦しくなっています。労働組合の調査でも、全体の90%の人が「経済的ゆとりを感じていない」と答えています。「日常生活の補填」が40%と圧倒的に多いことから、苦しい状況がうかがえます。

三菱と58万円の差

一時金については、合併が予定されている三菱重工と比



どこへ行った合併?
日立空調の社長交代?

日立空調の社長が中山氏から石津氏に交代することになり、3月2日に中山社長の挨拶がイントラネットにのりました。しかし三菱重工との合併には一言も触れられていませんでした。合併後の新会社の社長になるはずだったのでは?

調整給補償の協議を

較すると、日立空調システムがいかに低いか良く分かります。04年の受結額で年間58万円の差があります。日立関連の中でも特に低い日立空調システムの一時金は、もっと引上げる必要があります。

調整給補償の協議を

成果主義の名による新処遇制度が導入されて一年が経過し、その実態が賃下げの押し付けにあったことが明らかとなり、成果主義に反対の声が多くなっています。今春闘で労働組合は、調整給の定年までの補償について協議を求めましたが、会社側は応じようとしていません。日立関連の中でも特に問題のある日立空調システムの処遇制度に対して、職場からも見直しの声をあげていきましょう。

企業ぐるみ選挙は違法です